

13 高雄の道路（その2）

台湾全体の道路の大きな特徴は「騎楼」と言われる建物の底部分である。これは私有地であるが法律で「一定の広さを確保して歩道として提供しなければならない」と定められている。

暑い南国では日陰を提供し誠に重宝な歩道である。

しかし実態は歩道としての機能は低く、大半が車やバイクの駐車場と化している。中には飲食店として使っているケースが目立つ。歩道が整備されていない道路では歩行者は安全な騎楼を歩かず車道を歩くのが一般体である。

私の印象では嘉義の街が最も行儀がよく、次いで台北、高雄、台中の順ではないかと思っている。騎楼が歩道として機能するかしないかはいつに掛かって市長の決意次第であるが、ここまで崩れた実態を正常化するのは相当なエネルギーが要るのは間違いない。



騎楼が食堂と化している



喫茶店兼駐車場に



単車の駐車場に



個人用途に



写真上 歩行者は騎樓ではなく車道を歩く羽目に

写真下の3点 本来の騎樓のあるべき姿
(写真はネットから借用)

